

## 2021年度公衆衛生学 各講義の学習目標

公衆衛生学試験（12月下旬）のための学習ポイントです。講義内容・教科書をよく復習しておいてください。

月日	項目	課題
9月3日	公衆衛生学の基礎：総論 (公衆衛生学とはどんな学問か?)	集団における健康指標、及び、健康に影響を及ぼす要因説明できる。
		ブロードストリート・コレラ事件から学ぶ、公衆衛生の考え方を説明できる。
9月3日	公衆衛生学特論： 原子力災害の公衆衛生	医学と情報の共通点について、講義で取り上げたことをもとに説明できる。
		インフォームド・コンセントとシェアード・デシジョン・メイキングの違いについて説明できる。
9月6日	公衆衛生学の基礎： 地域医療を担う医師として働く (病院医師として)	地域連携クリニカルパスについて説明できる。
		チーム医療とは何か説明できる。
9月6日	公衆衛生学特論：終末期医療・障害者福祉	尊厳死と安楽死の違いを説明できる。
		インフォームドコンセントについて、概説できる。
9月10日	公衆衛生学特論：医療経済	医療の経済学的特殊性について説明できる。
		医療保険におけるモラルハザードとその対策について説明できる。
9月10日	生涯を通じた健康づくり： 成人期① (日本人の健康状態・難病)	性・主要死因別にみた年齢調整死亡率の推移を説明できる。
		ジェフリー・ローズの「予防医学のもっとも基本的な原理原則」を具体例で説明できる。
9月13日	生涯を通じた健康づくり： 周産期・乳幼児期	母子保健法に基づく健康診査・訪問指導について説明できる。
		児童相談所と児童虐待について説明できる。
9月13日	生涯を通じた健康づくり： 学童期・思春期・青年期	主な学校保健関係職員（常勤・非常勤職員）について説明できる。
		学校保健における保健管理について説明できる。
9月17日	公衆衛生学の基礎： 地域で公衆衛生医として働く (国際保健の立場から)	世界の健康問題のパラダイムシフトについて説明できる。
		国際協力の体系について説明できる。
9月17日	生涯を通じた健康づくり：成人期② (生活習慣病のリスクと予防：総論)	日本人の肥満及びやせ（含む低栄養）の近年の状況を説明できる。
		近年の日本人の血圧の推移と食塩摂取量の状況の推移を関連づけて説明できる。
9月24日	公衆衛生学特論：がんの疫学	加齢により、がんに関する健康問題の重要性がどのように変化するか説明できる。
		がん検診の実施による利益と不利益について説明できる。
9月24日	公衆衛生学の基礎： 地域で公衆衛生医として働く (保健所の立場から)	地域保健を担う関係機関3つについて、その名称と業務内容について説明できる。
		感染症法第15条における積極的疫学調査について説明できる。
9月27日	公衆衛生学特論： 受動喫煙の防止と新型タバコの危険性	改正健康増進法の直接的背景について説明できる。
		たばこ規制・対策が困難である背景要因について、具体例を交えて説明できる。
10月4日	生涯を通じた健康づくり：成人期③ (生活習慣病のリスクと予防：各論)	日本における心疾患死亡率の推移を男女別、病型別に説明できる。
		虚血性心疾患の危険因子の現状と今後の推移の可能性について説明できる。 または、脳血管疾患の病型別の主な危険因子について説明できる。
10月11日	生涯を通じた健康づくり： 成人期④（メンタルヘルス）	精神保健福祉法で定められた入院形態について説明できる。
		日本の自殺者の年次推移の特徴を説明できる。
10月11日	生涯を通じた健康づくり：高齢期① (高齢社会：総論)	高齢期における健康の考え方や指標について説明できる。
		日本において戦後に平均寿命が延伸した要因について具体的に説明できる。
10月18日	生涯を通じた健康づくり：高齢期② (老年症候群 老年病)	認知症の予防の効果として期待されていることについて説明できる。
		フレイル、及び、サルコペニアについて概説できる。
10月18日	生涯を通じた健康づくり：高齢期③ (介護予防)	介護保険制度の概要について説明できる。
		介護保険制度が「予防重視システム」に転換されるに至った経緯や意義について説明できる。
10月25日	生涯を通じた健康づくり：高齢期④ (高齢者保健対策)	国際機能分類（ICF）について説明できる。
		地域包括ケアシステムについて、概要を説明できる。
11月1日	公衆衛生学の基礎： 地域で公衆衛生医として働く (研究者の立場から)	地域で働く公衆衛生医の実例から、公衆衛生医の役割について説明できる。
		公衆衛生事業における評価の考え方と指標を説明できる。